

ライセンスコストの削減と コンプライアンスの確保



課題

Microsoft Office™、Project™、Visio™をはじめとする多くの Microsoft アプリケーションは、デバイス単位でライセンスできます。つまり、アプリケーションにアクセスできるデバイスごとにクライアントアクセスライセンスが必要です。

これは、Microsoft Remote Desktop Session や Citrix XenApp などのホストテッド/公開デスクトップ環境、Citrix XenDesktop や VMware View などの仮想デスクトップ環境、あるいは Microsoft App-V などのアプリケーション仮想化テクノロジーを利用する環境では、順守しようにも複雑でコストのかかるモデルとなる可能性があります。

原因

多くの場合、これらのアプリケーションはユーザー基盤の(ごく)一部、もっと正確に言えば社内全体のデバイス総数の(ごく)一部にしか使用されません。これは、サーバーベースのコンピューティングまたは仮想デスクトップを使用しているほぼすべての企業に 2 つの懸念をもたらします。

1. 法的には必要であるものの、ユーザーが実際にその下でアプリケーションを使用しないライセンスはすべて、企業にとって不要であり、大きな支出となる。
2. (そのデバイスのユーザーが問題のアプリケーションを使用しないものと見なされたため)ライセンスがないにもかかわらず、そのアプリケーションにアクセスできるデバイスは、アプリケーションの(潜在的な)使用に対するライセンスがやはり必要であることから、Microsoft のライセンス規約に違反していることになる。違反は高額な罰金または法的措置につながる可能性があります。

よくある誤解は、アプリケーションを限られたユーザーグループにのみ「公開」(つまり提供)していれば、その(ユーザーの)グループは Microsoft のライセンス契約を順守していることになるというものです。しかしながら、デバイスごとにライセンスされる Microsoft アプリケーションの場合、そのアプリケーションを実行できるクライアントマシンごとにライセンスが必要です。ライセンス制御を実施する手段として、グループポリシーやソフトウェア制限ポリシーを使用することはできません。それらのポリシーは、デバイスではなくユーザーまたはユーザーのグループに適用されるものであり、許可されたユーザーは社内の任意(またはすべて)のデバイスからアプリケーションにアクセスし、実行できることに変わりないからです。

ソリューション

AppSense は、Microsoft 社に認められているように、接続デバイスによるアプリケーションアクセスを実施、制御し、それによって Microsoft のライセンス規約を順守することを可能にします。AppSense を使用すれば、特定のアプリケーションへのアクセスを指定デバイスにのみ許可し、その他のデバイスによるアクセスを禁止することが可能です。ユーザーが誰であろうと関係ありません。これにより、コンプライアンスを確保しながら、必要なアプリケーションライセンス数と関連コストを大幅に削減します。

AppSense のお客様は、アプリケーションにアクセスしないデバイスについてライセンスを購入する必要性を減らすことにより、3 年でユーザー 1 人当たり 2,000 ドルのコストを削減し、わずか 2~3 カ月で投資収益率を達成しています。

メリット

- ライセンスモデルの順守を確保
- 必要なライセンス数を削減
- アプリケーションおよびデスクトップ仮想化プロジェクトを実現

お客様成功事例

Chandler Macleod 社: 余分なライセンスの購入を回避

「すべての Citrix サイトが抱えている主なソフトウェアライセンスの問題の 1 つは、アプリケーションごとに、サーバーにアクセスできるデバイスと同じ数のライセンスが必要ということです。これは、アプリケーションを使用する権限を持つユーザーが 10 人しかいない場合にも当てはまります。最大 750 台のデバイスがアクセスでき、25 種類のアプリケーションがあるサーバーファームの場合、ソフトウェアライセンスコンプライアンスを維持するコストはまさに途方もない額になります。

AppSense により、特定のアプリケーションにアクセスできるユーザーやデバイスを制御することが可能になり、その結果、膨大な数の余分なライセンスの購入を回避できています。」

Dave Thomas 氏、Chandler Macleod 社 CIO

Lifeline Community Care: ライセンスの抑制により Microsoft Project™ の導入を実現

「Microsoft Project™ をロールアウトしようとしたところ、実際に製品を使用する人の数がわずか 30 人であるのに対し、600 ものデバイスライセンスを購入しなければならなかったことがわかりました。しかし、AppSense により、Microsoft Project を Citrix サーバーに配置しながら、30 台のデバイスについてのみ Microsoft のライセンス要件を完全に満たすことができました。

これは数千ドルのライセンスコスト削減と見ることもできますが、実際にはソフトウェアを導入できるか、コストのせいで導入できないかの分かれ目になる違いでした。」

Peter Spence 氏、
Lifeline Community Care ステート IT マネージャー

Ivanti について

Ivanti は、企業の IT チームがセキュリティを最適化し、運用コストとインフラストラクチャコストを削減しながら、物理 PC と仮想ワークスペースの両方で最高のユーザーエクスペリエンスと生産性を実現できるよう支援します。そのために、ポリシー、パフォーマンス、プロファイル、特権、データを基礎となるオペレーティングシステム、アプリケーション、デバイスから分離し、Ivanti DesktopNow および DataNow により、物理、仮想、またはクラウドデリバリーテクノロジーを通じて、リアルタイムでワークスペースに提供します。Ivanti のソリューションは、世界 3,200 社の 700 万台を超えるデスクトップに導入されています。同社は、米国カリフォルニア州サニーベールに本社を構え、世界各国に営業拠点を置いています。